

(証券コード：2124)

# WEB株式講演会 & 企業IRセミナー

株式会社 ジェイエイシーリクルートメント  
執行役員 CCO 金子美和子

2025年9月27日

1. JACリクルートメントのビジネスモデル
2. JACの4つの財務優位性
3. 2025年度上半期決算と通期業績／配当予想の上方修正
4. 人材紹介マーケットと中長期戦略
5. 創業50周年を迎えて

# 1. JACリクルートメントのビジネスモデル

人材紹介

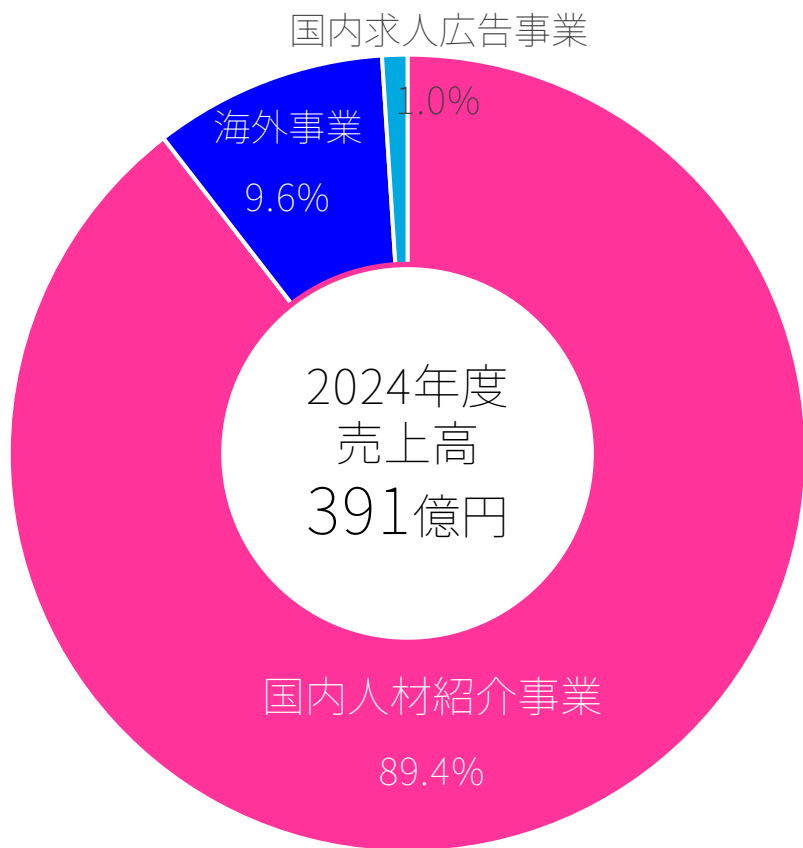
人材派遣

人材業界

求人広告

その他

## 事業ポートフォリオ



## ポジショニング

グローバルな人材紹介市場では売上高で

世界12位\* (2021年12月現在)

● JACグループ ● 競合他社の状況

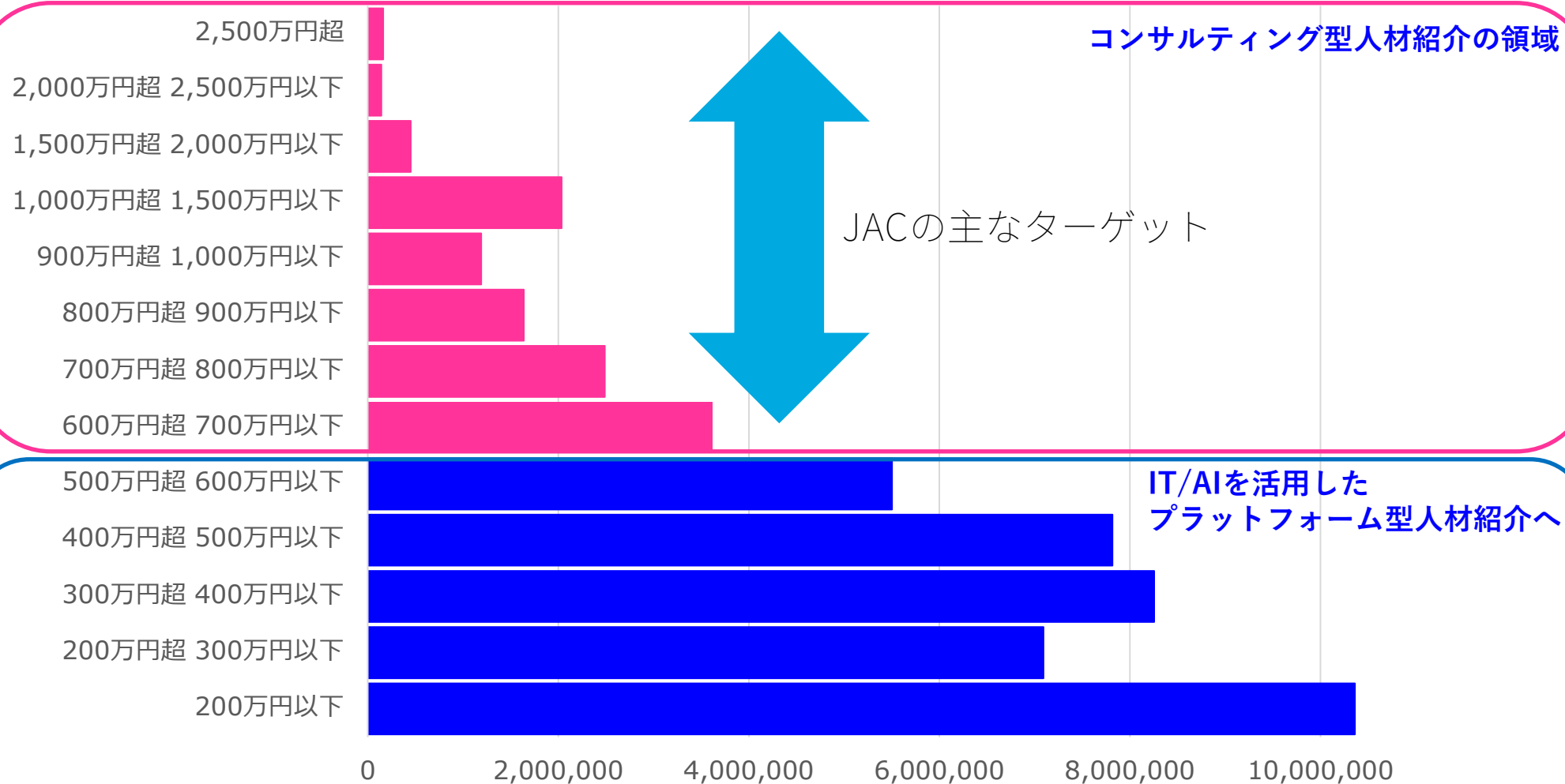


\*自社調べ（正社員紹介の売上高、一部推定含む）  
低額帯メインの会社を除外 2021年度ベース

# JACがフォーカスするマーケット：中・高額帯 & 専門職

## 給与階級別給与所得者数

(国税庁長官官房企画課「民間給与実態統計調査（令和5年分）」より)



# JACの成り立ちからくる強み：グローバル企業支援/バイリンガル人材

## 【JACの沿革】

1975	英国・ロンドンで創業
1981	「Japan Agency & Consultancy (JAC) Recruitment部」創設
1987	初の海外拠点をシンガポールに開設
1988	JAC Japan 設立
2006	JASDAQ上場 (2015年に東京証券取引所市場第一部へ市場変更)
2018	海外事業をJAC Japanの下に再統合
2025	創業50周年

➡ 英国に進出した日系企業に日本語人材を紹介する事業でスタート

➡ 同様のビジネスモデルでアジア・欧州・米国に展開

➡ 日本に進出した外資系企業に英語人材を紹介する事業でスタート



日本企業に国内人材する事業に拡大  
(バイリンガル人材に強み)

# JACのグローバルネットワーク

## 世界11ヵ国34拠点に広がるネットワークで、グローバルに人的資本の最適配置に貢献

- ① 設立年/Year of Establishment
- ② 所在地/Location
- ③ 従業員数/Number of Staff

**JAPAN**

- ① 1988
- ② Tokyo・Tohoku (Sendai)・Kita-Kanto (Saitama)・Yokohama・Shizuoka・Hamamatsu・Nagoya・Kyoto・Osaka・Kobe・Chugoku (Hiroshima)・Fukuoka
- ③ 2,045

Including JACI, CC, VP

**Singapore**

- ① 1987
- ② Singapore
- ③ 53

**USA**

- ① 2023
- ② Los Angeles  
Charlotte  
New York
- ③ 13

**KOREA**

- ① 2011
- ② Seoul
- ③ 14

**Thailand**

- ① 2004
- ② Bangkok  
Eastern Seaboard (Chonburi)
- ③ 50

**Vietnam**

- ① 2013
- ② Ho Chi Minh City  
Hanoi
- ③ 27

**India**

- ① 2014
- ② Delhi NCR (Gurugram)  
Bengaluru
- ③ 21

**Malaysia**

- ① 1994
- ② Kuala Lumpur  
Penang・Johor
- ③ 45

**Indonesia**

- ① 2002
- ② Jakarta
- ③ 71

**GERMANY**

- ① 1975
- ② London
- ③ 18

**UK**

- ① 1975
- ② London
- ③ 18

**Germany**

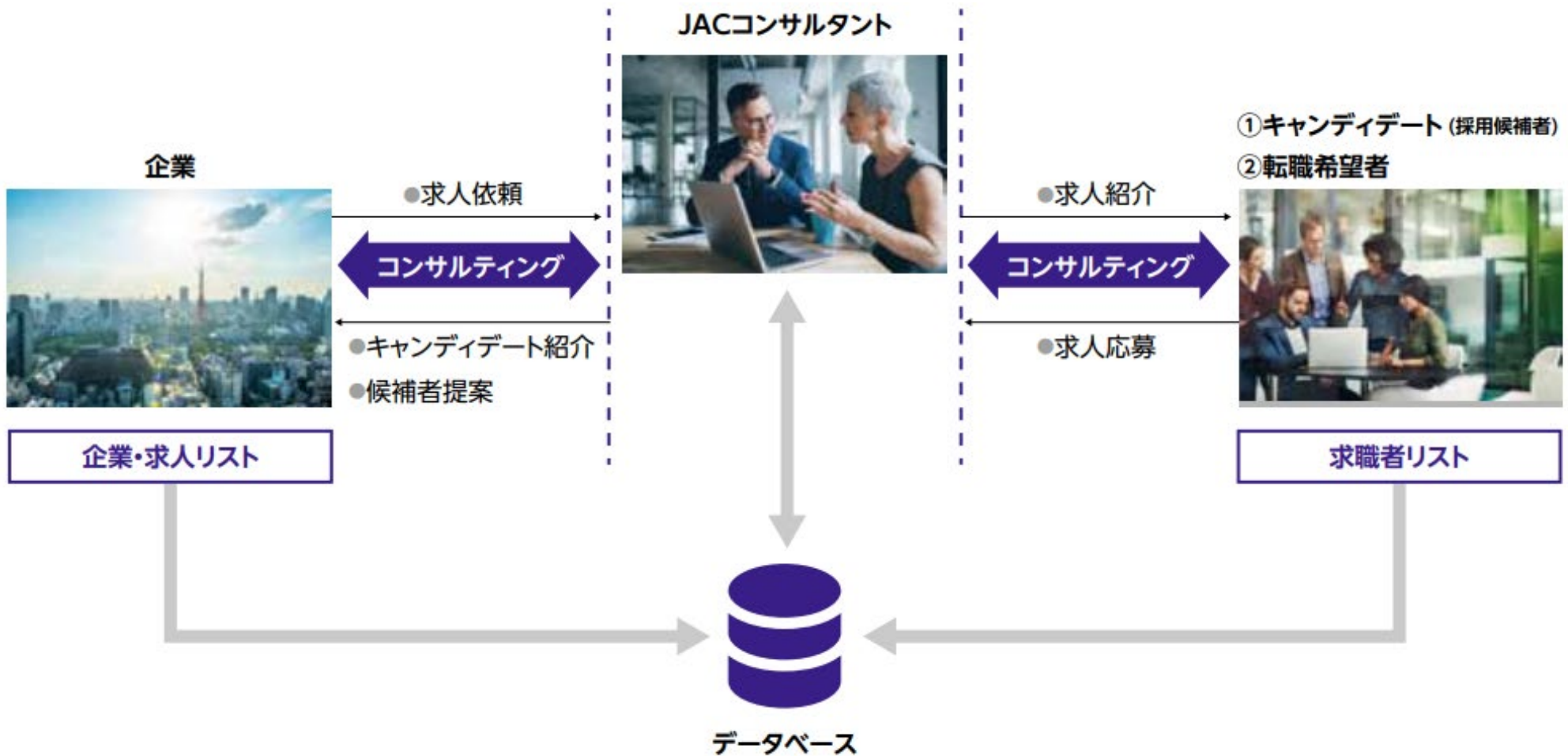
- ① 2019
- ② Dusseldorf  
Frankfurt  
Munich
- ③ 15



2024年12月末現在

※従業員数は正規雇用者数と年間の臨時雇用者数(契約社員、派遣社員、パートタイマーの従業員を含む)の平均人員の合計

# JACのビジネスモデル：コンサルティング型の人材紹介



# JACの特長：220超に細分化された専門チーム

## 金融

銀行・証券・保険・ノンバンク  
ファンド・M&Aアドバイザー  
アセットマネジメント・REIT  
ファイナンステクノロジー

## 製造業全般

自動車  
機械  
電機・電子  
半導体  
化学・素材  
エネルギー・プラント

## サービス

広告・メディア  
レジャー・エンターテインメント  
外食・ホテル・旅行  
ロジスティクス・貿易・商社  
小売・流通・サービス

## ヘルスケア

製薬・ライフサイエンス  
医療機器・ヘルステック  
ヘルスケアサービス

## 建設・不動産

建築・土木・建設コンサルタント  
不動産

## コンサルティングファーム

戦略、業務、IT、人事、会計領域  
金融、製造、流通、通信・ハイテク  
成約・医療、公共  
IT・Digital、SCM、CRM、BI、AI  
監査法人、シンクタンク

## 消費財

ラグジュアリー  
ファッション  
スポーツ・アウトドア  
FMCG（日用消費財）  
食品・飲料

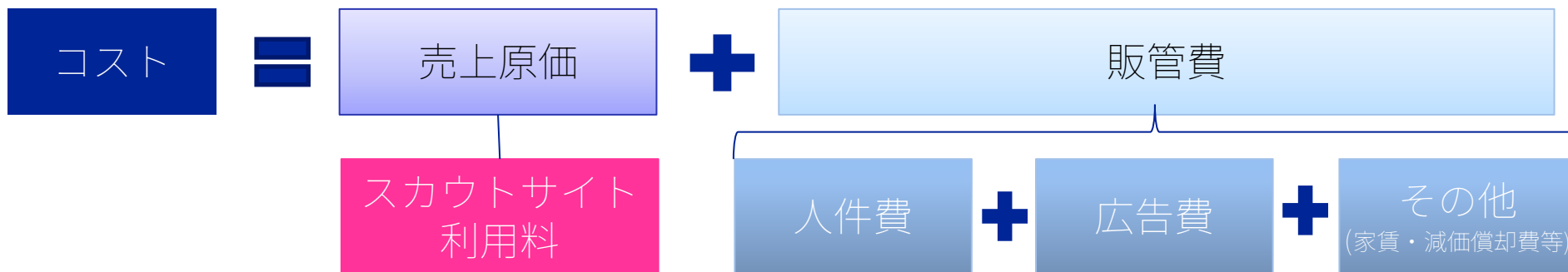
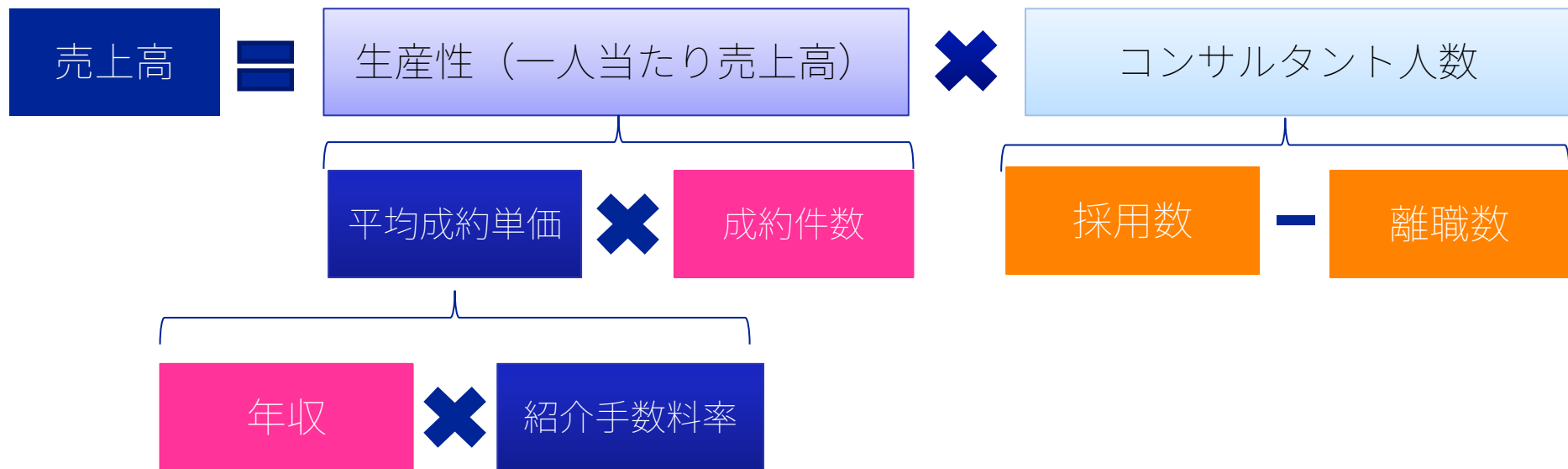
## Digital/IT/Web

ソフトウェア・ハードウェア・クラウド  
AI・IoT  
インターネット関連  
デジタルマーケティング  
EC・メディア  
ゲーム・エンターテインメント

## バックオフィス

人事・総務  
経理・財務  
法務  
内部監査・統制・IR  
経営企画

# 収益モデル（人材紹介事業）



## 2. JACの4つの財務優位性

①高い成長性

②高い利益率

③高い資本効率

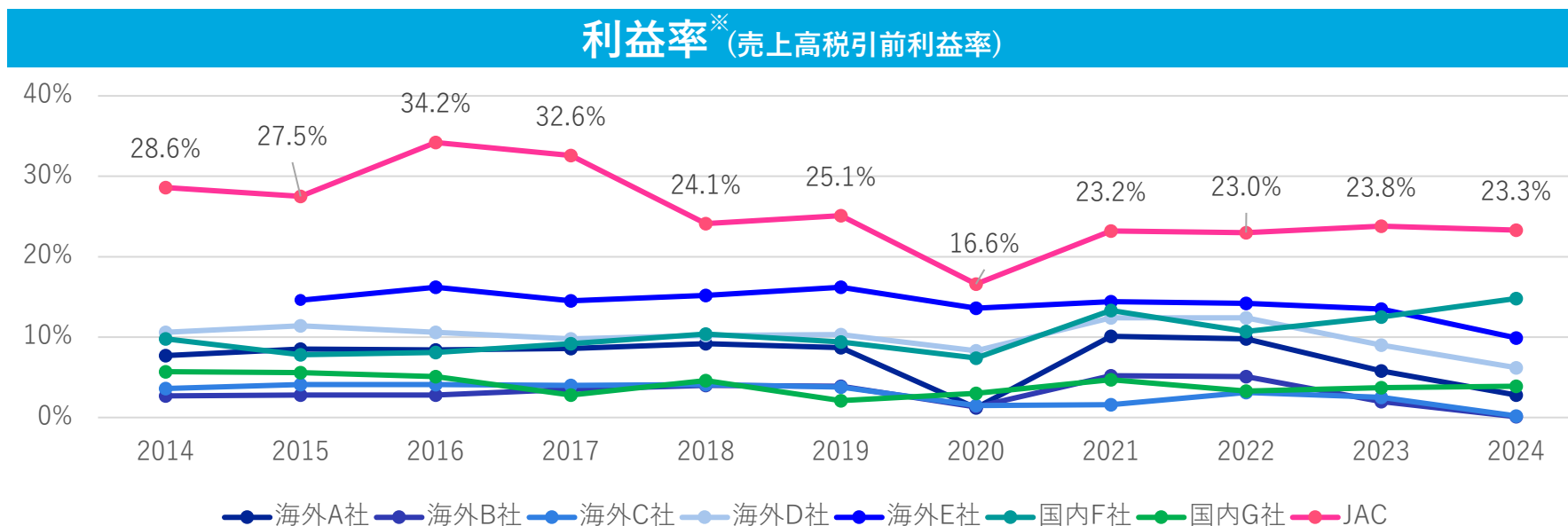
④高い配当性向

# ①成長率、②利益率、③資本効率の状況

● 国内外の同業他社比で圧倒的な利益率の高さを誇り、成長率・資本効率の高さなどで、総合的に優位性を持つ。

	JAC Group	海外A社	海外B社	海外C社	海外D社	海外E社	国内F社	国内G社
成長率(過去10年間の売上総利益のCAGR)	👑1 14.8%	4.7%	4.1%	4.4%	1.6%	-0.6%	👑3 12.3%	👑2 13.2%
利益率(売上高税引前利益率の10年単純平均)	👑1 25.1%	7.3%	3.1%	2.9%	10.1%	👑2 14.2%	👑3 10.4%	3.9%
資本効率(10年単純平均ROE)	👑2 30.8%	👑3 26.8%	16.1%	20.1%	👑1 33.7%	20.4%	17.4%	13.1%

※2025年6月末現在

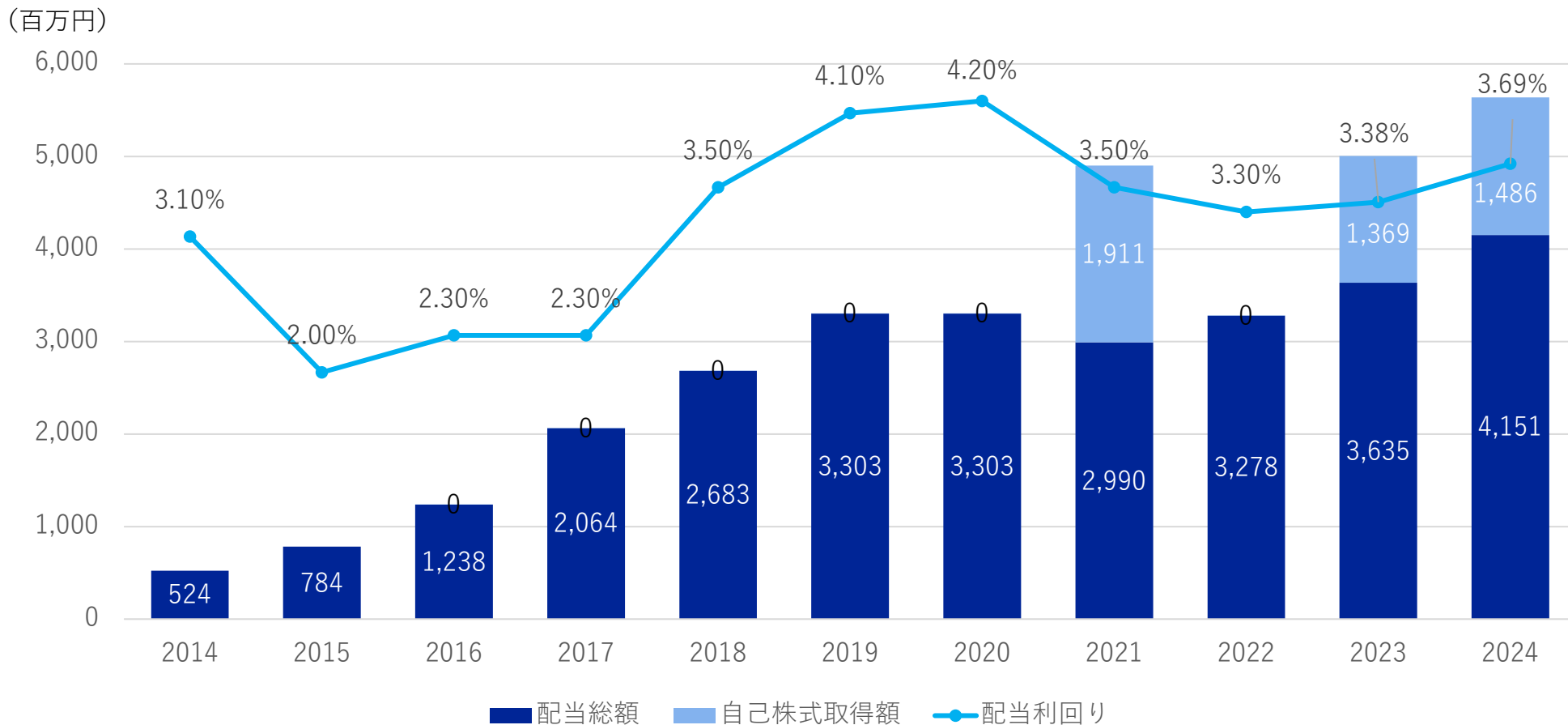


※2025年6月末現在

## ④ 配当性向

### 2018年以降、コロナ禍も含め、60%超の配当を継続

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	累計	2025 (予想)
配当性向	42.3%	37.9%	56.0%	68.7%	75.9%	180.0%	76.8%	65.2%	60.9%	74.6%	68.3%	71.1%
総還元性向	43.3%	37.9%	56.0%	68.7%	75.9%	180.1%	126.3%	65.2%	83.7%	100.5%	79.9%	—



### 3. 2025年度上半期決算と通期業績／配当予想の上方修正

# 2025年12月期 上半期 JACグループ実績

売上高は前年同期比21.7%増、経常利益は43.3%増、当期純利益は48.6%増で、  
いずれも年初計画を上回り、過去最高。

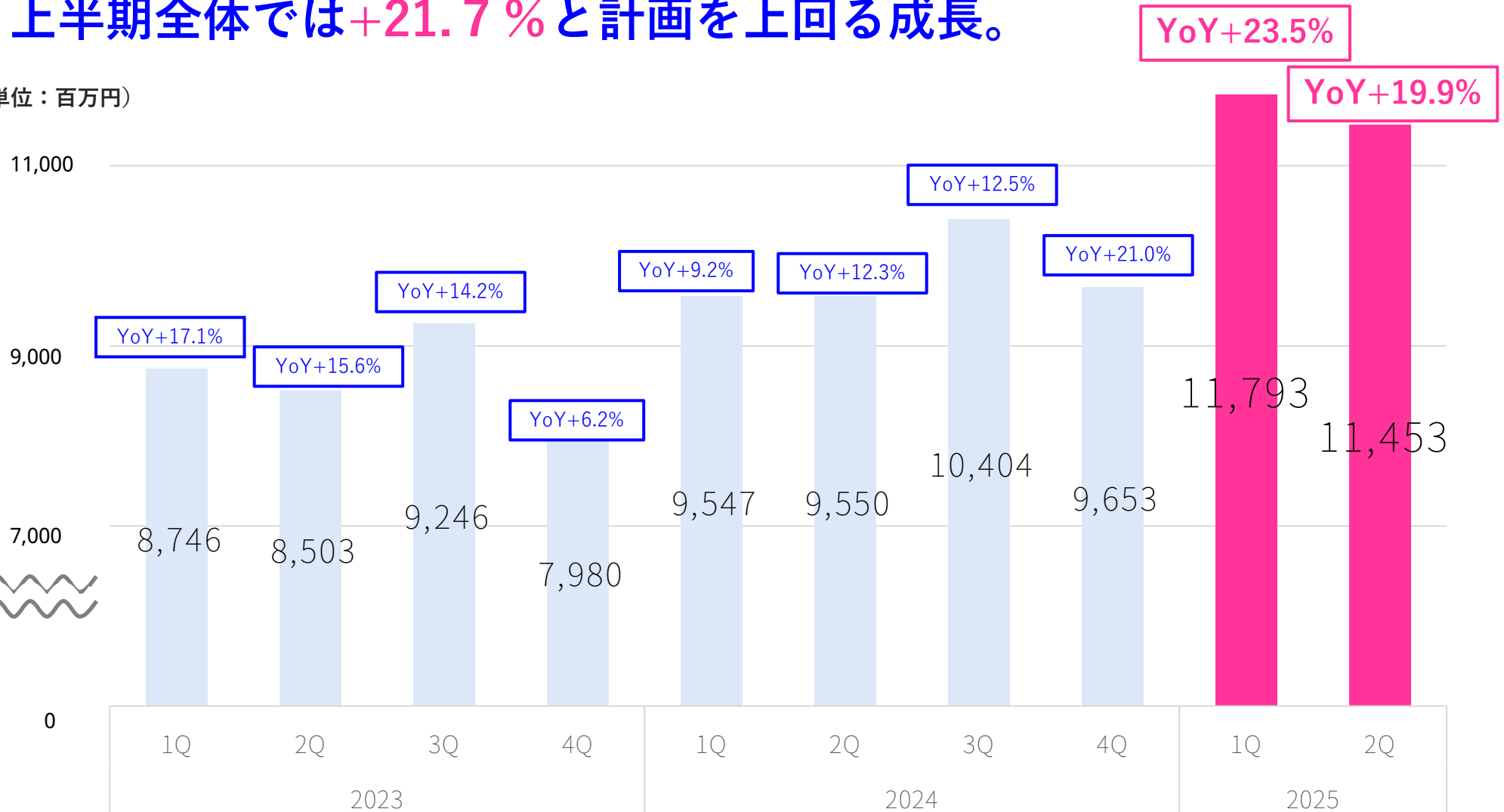
(単位：百万円)

	2024年12月期 上半期	2025年12月期 上半期	前年 同期比	計画比	
				半期達成率	通期進捗率
売上高	<b>19,097</b>	<b>23,247</b>	+ 21.7%	106.6%	51.8%
売上総利益(GP)	<b>17,646</b>	<b>21,538</b>	+ 22.1%	106.6%	51.8%
営業利益	<b>4,358</b>	<b>6,238</b>	+ 43.1%	132.7%	62.4%
EBITDA	<b>4,690</b>	<b>6,440</b>	+ 37.3%	-	-
EBITDA Margin	<b>24.6%</b>	<b>27.7%</b>	+ 3.1pt	-	-
経常利益	<b>4,360</b>	<b>6,247</b>	+ 43.3%	132.9%	62.5%
税引前中間純利益 (PBT)	<b>4,278</b>	<b>6,246</b>	+ 46.0%	132.9%	62.5%
親会社株主に帰属する 中間純利益	<b>2,873</b>	<b>4,270</b>	+ 48.6%	129.4%	61.0%

# 全社売上高の四半期比較

1Qは前期比+23.5%で過去最高の四半期売上、2Qは前期比+19.9%、上半期全体では+21.7%と計画を上回る成長。

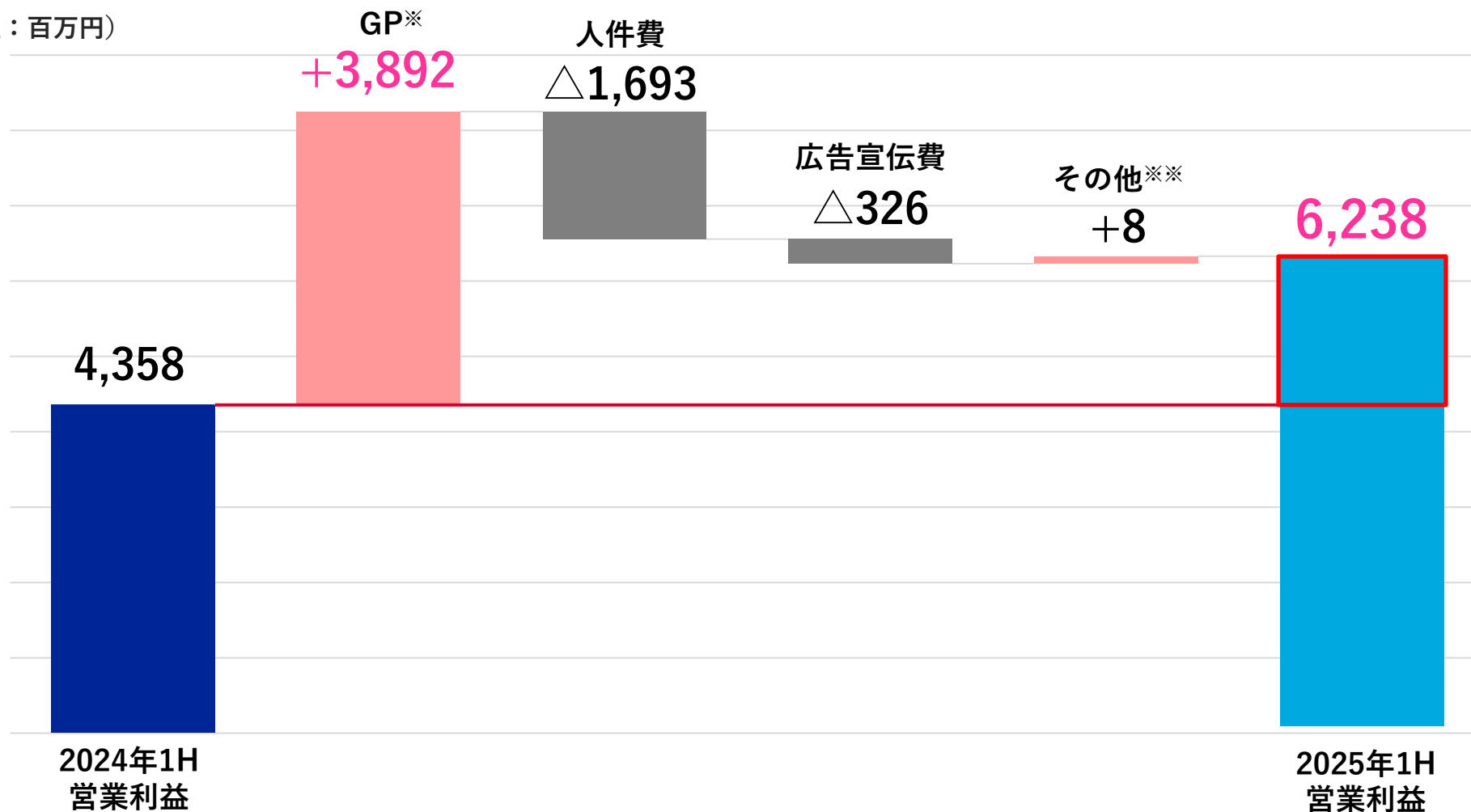
(単位：百万円)



# 前年同期比での営業利益の変動要因

GPの着実な増加と「Minimum Cost」の取り組みにより、営業利益は前年同期比+43.1%。

(単位：百万円)



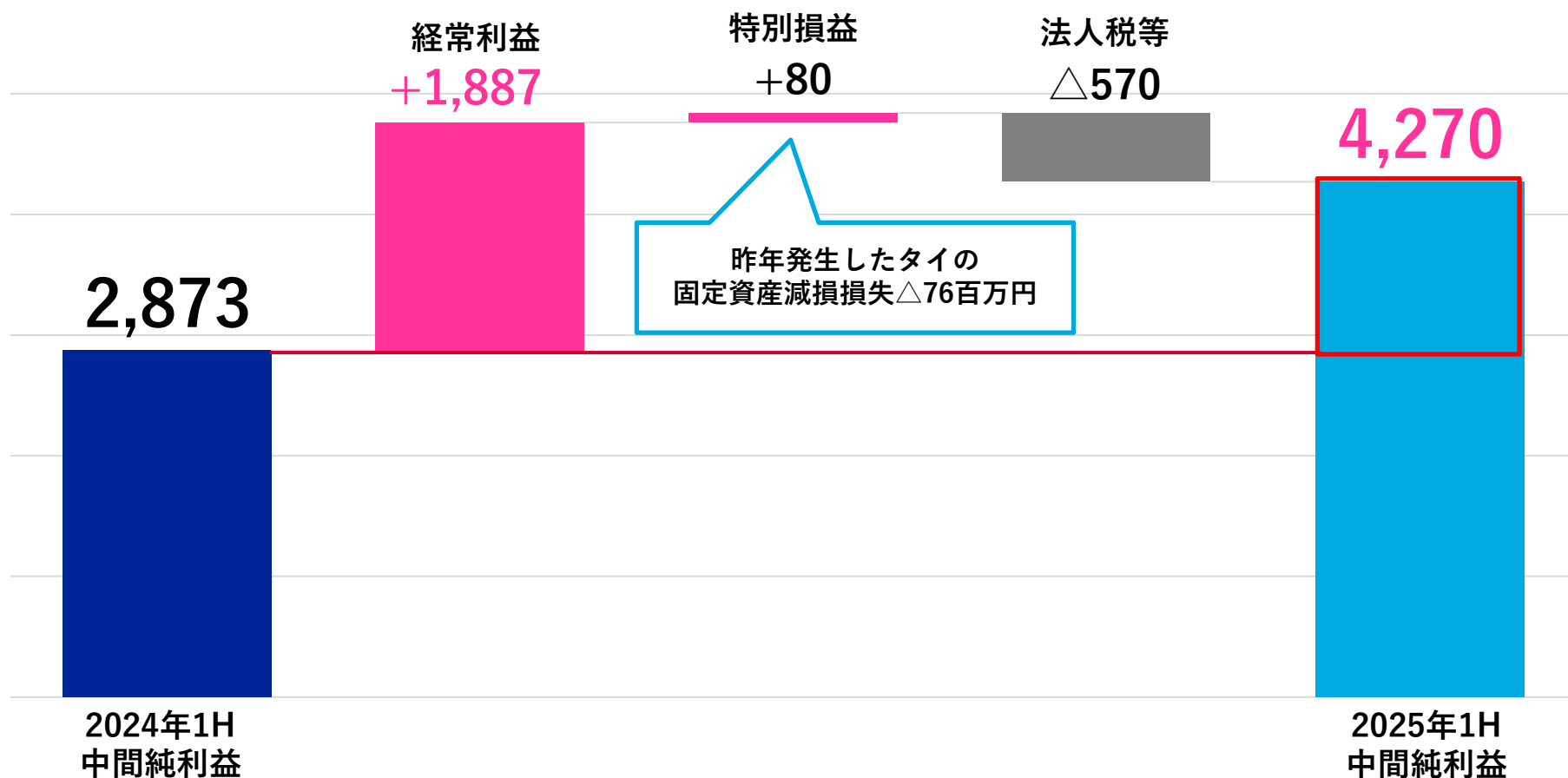
※GP: Gross Profit (売上総利益)

※※ 前年同期一過性の費用の反動、コスト削減効果、IT投資計画の後ろ倒し等

# 前年同期比での中間純利益の変動要因

前年同期に発生したタイの固定資産減損損失の剥がれなどにより、中間純利益は前年同期比+48.6%。

(単位：百万円)



## 国内人材紹介 事業

### 【事業環境】

1. 米通商政策による売上高への影響は若干にとどまった。下半期も同様のマーケットと推測
2. 当社事業の中核をなすミドル・ハイクラス人材の動きは活発

### 【取り組み】

1. 市場環境の変化に留意しながら、当社のコアビジネスである高額年収帯を軸として、エグゼクティブ領域については全業種・全拠点で取り組みを強化
2. 地方拠点においては、各地でその拡充を進めており、5月には北海道支店を開設

## 海外 事業

1. アジア地域を中心に厳しい状況が続く
2. 本社の営業担当執行役員を海外拠点に派遣し、現地日系企業の採用マーケット開拓を図りつつ、さらなるグローバル・アカウントマネジメントを推進し、各国でコンサルタントとマネジメントの育成強化を図っている

## 国内求人広告 事業

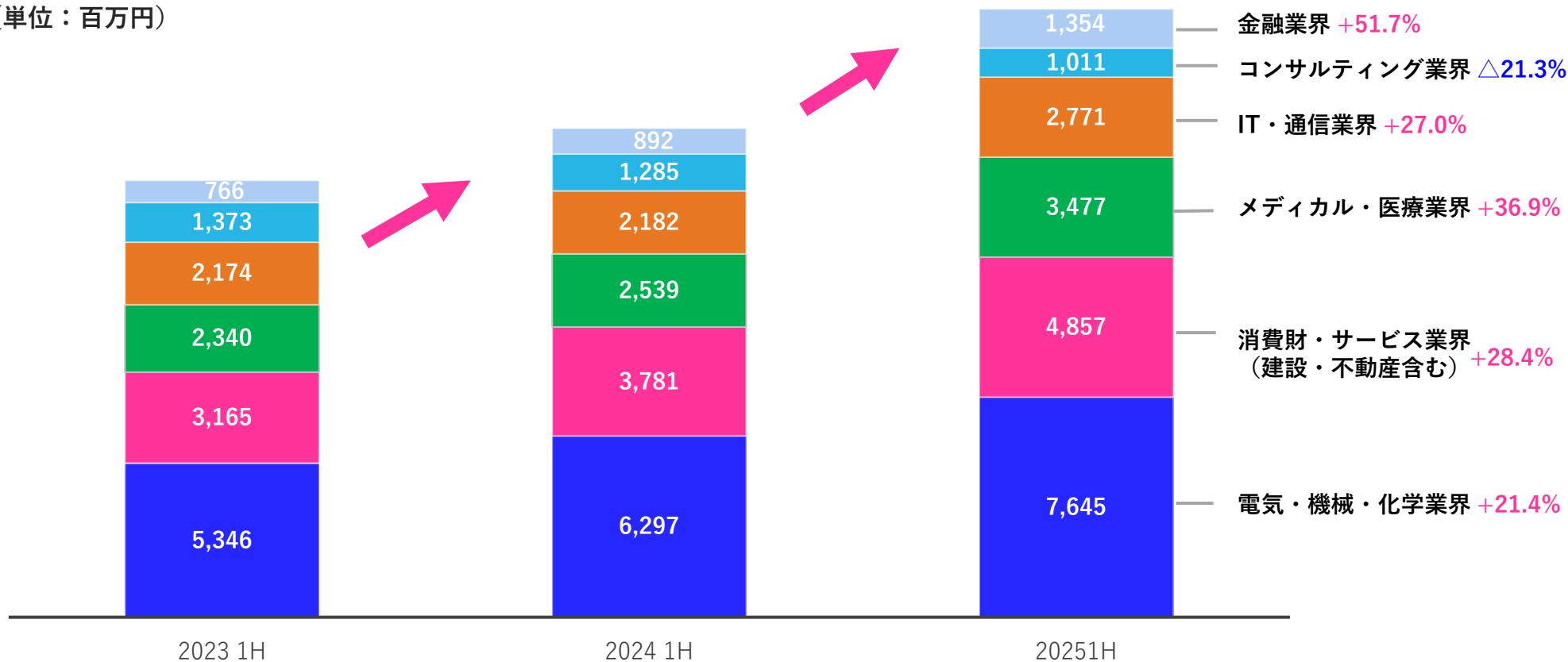
1. 国内人材紹介事業との連携を図ることで求人・求職者の登録増加を進める
2. 企業向けダイレクト・リクルーティングを強化し、売上の拡大を図る

# 国内人材紹介事業の業種別売上高の状況

金融業界は前年同期比+51.7%の大幅増、その他の業種もコンサルティング業界を除く全業種で+20%超の増収。

## 業種別売上高の過去3年上半期比較 (国内人材紹介事業※)

(単位：百万円)



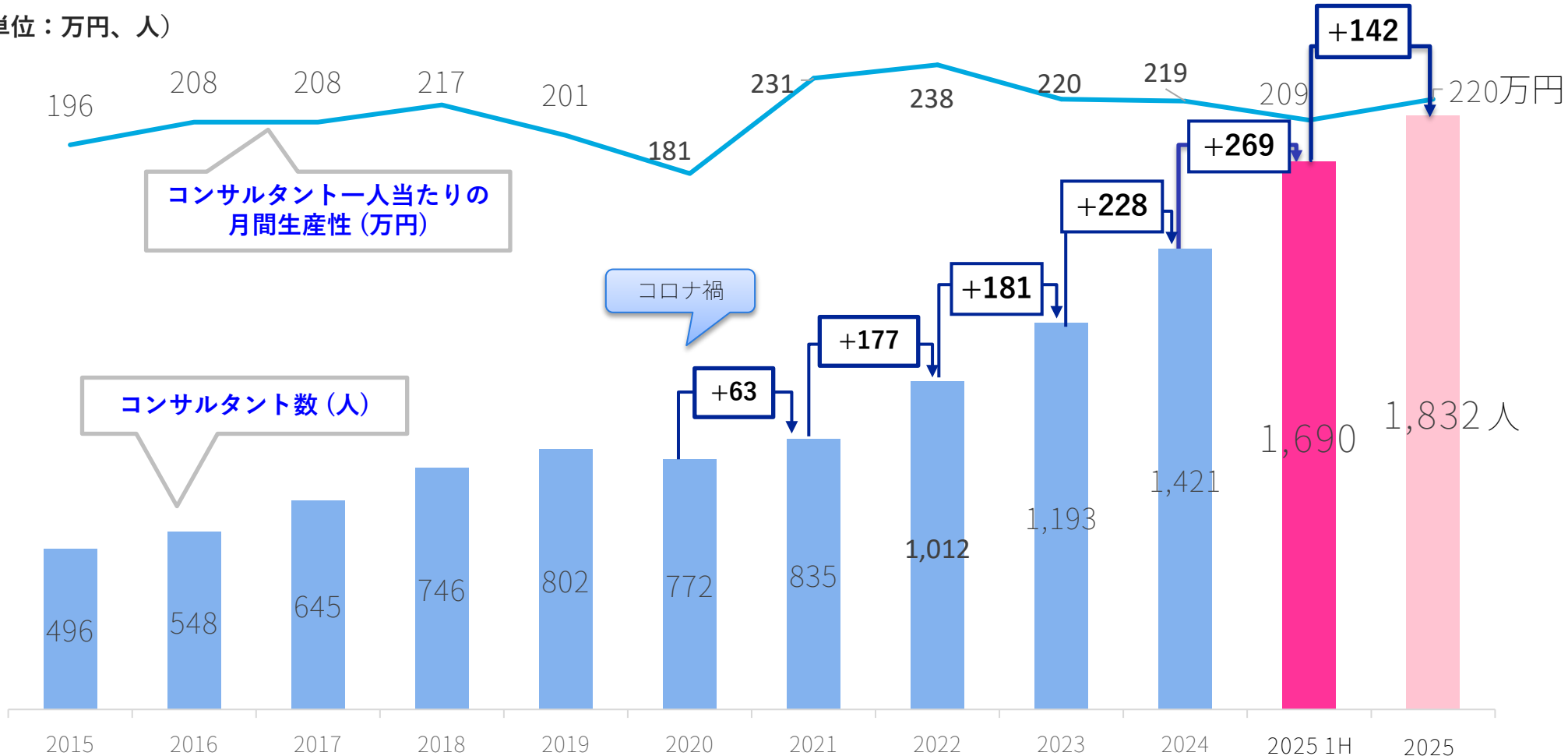
※JAC Recruitment + JAC International + VantagePoint

# コンサルタント数と生産性の状況

新卒約150名に加え、各業界経験者の採用を増強し、コンサルタント数は着実に増加。

コンサルタント数と生産性の10年の推移 (国内人材紹介事業※)

(単位：万円、人)



※JAC Recruitment + JAC International + VantagePoint(2020年度以降)

## 上半期の状況を踏まえ、通期業績予想を期初から見直し

- 下半期の売上高は年初計画どおり+15%で据え置くが、上半期の上振れ分を踏まえ、**通期では+18.2%の成長率を予想。**

(単位：百万円)

	2024年12月期 通期実績	2025年12月期			前期比		
		期初予想(通期)	今回予想	差額	増加額	増加率	年初予想
売上高	39,156	44,900	46,300	+1,400	+7,144	+18.2%	+14.7%
売上総利益 (GP)	36,248	41,600	42,900	+1,300	+6,652	+18.4%	+14.8%
営業利益	9,090	10,000	11,200	+1,200	+2,110	+23.2%	+10.0%
経常利益	9,122	10,000	11,200	+1,200	+2,078	+22.8%	+9.6%
税引前当期純利益 (PBT)	8,348	10,000	11,200	+1,200	+2,853	+34.2%	+19.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,611	7,000	7,800	+800	+2,189	+39.0%	+24.8%

# 株主還元方針

税引後利益予想の上振れを踏まえ、2025年度配当(DPS)を年初予定から3円引き上げ、前期比9円増配の35円を予定。

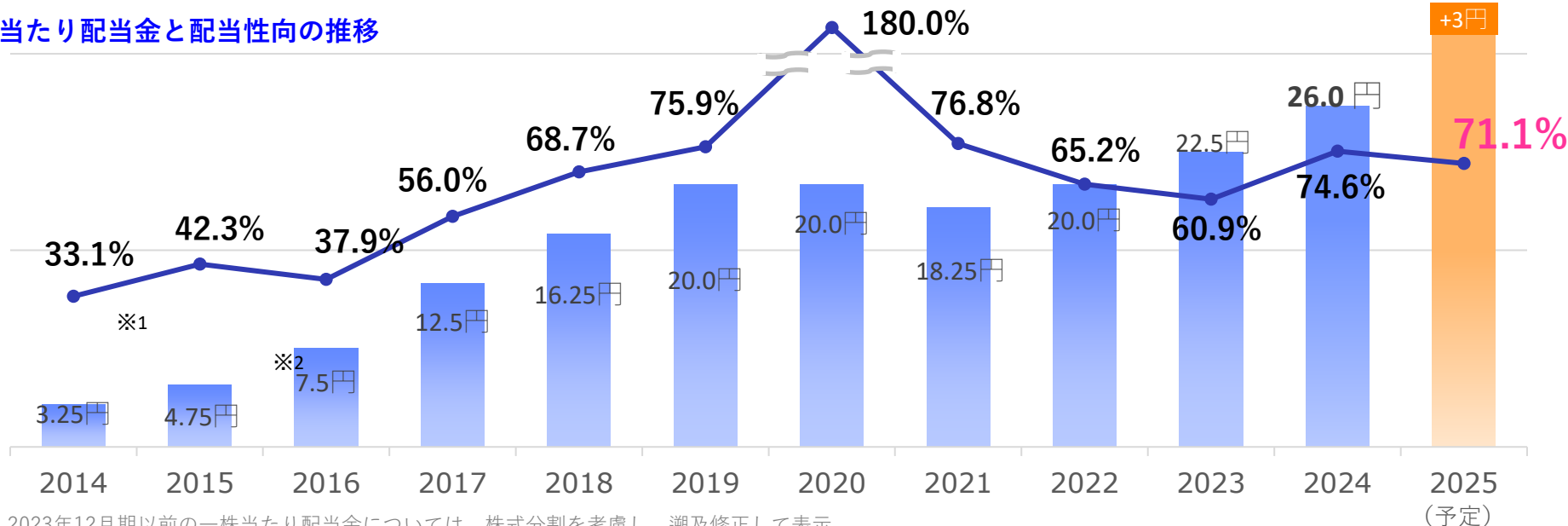
## 配当方針

配当性向60%~65%を目途として配当を行う。  
利益成長に伴い、安定的に増配基調を維持する。

	2024年度実績	2025年度予定	
		増配額/増加率	年初予定比
DPS	26円	35円	+3円
DOE	22.7%	27.8%	+1.6pt

DOE : 27.8%

## ■一株当たり配当金と配当性向の推移



※1 2023年12月期以前の一株当たり配当金については、株式分割を考慮し、遡及修正して表示

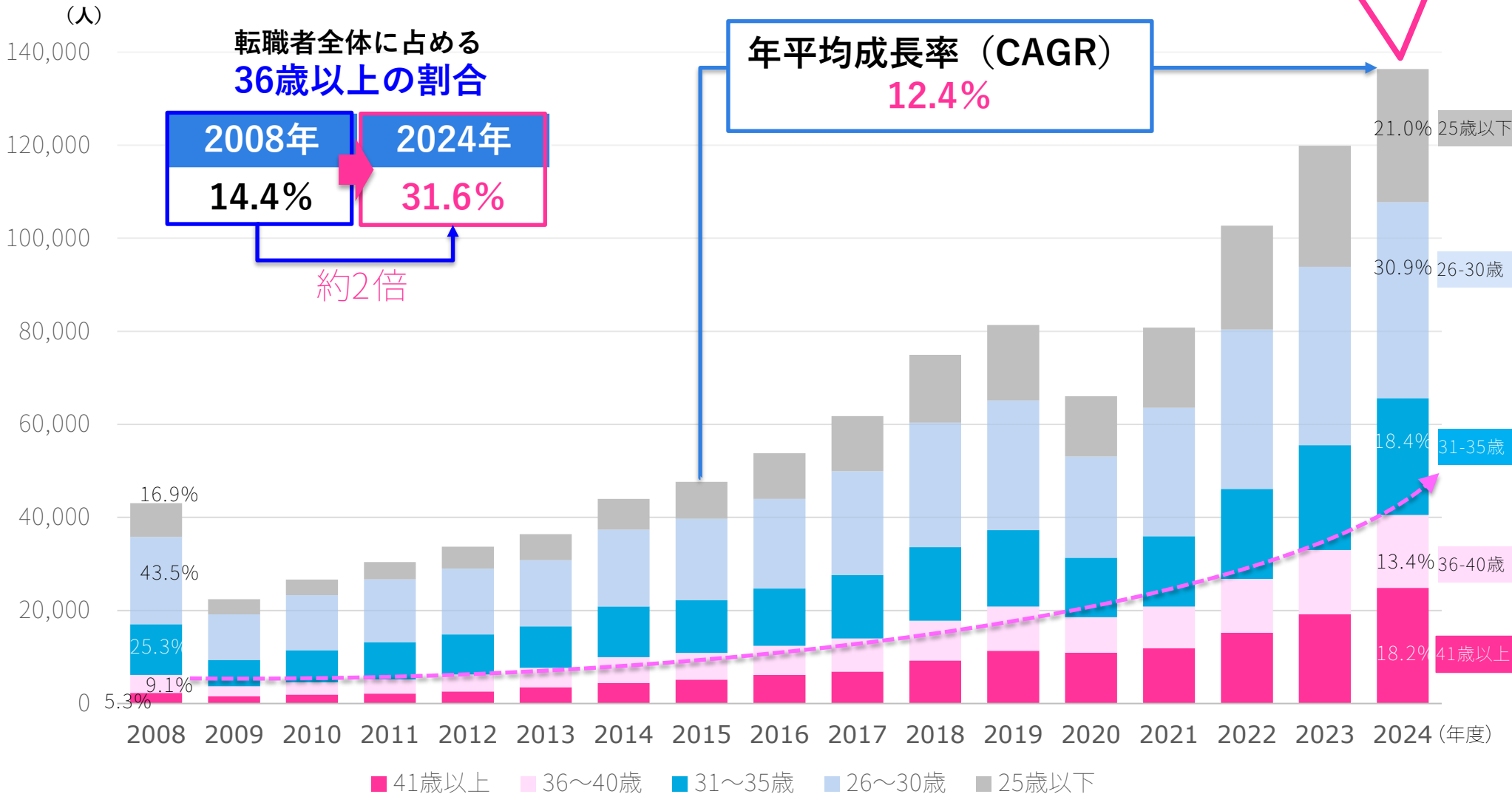
※2 2015年12月期以降の配当性向は、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式を含めて計算

※3 2025年12月期の配当性向は2024年12月期通期第2四半期予定時の数字

## 4. 人材紹介マーケットと中長期戦略

# 年齢別転職者数の推移 (人材紹介国内大手3社の合計)

2024年  
41歳以上の転職者数：  
前年同期比+29.8%



# 日本の人口構造に見る今後の有望マーケット

改正高年齢者雇用安定法  
(2021年4月施行)

65歳までの雇用確保  
(義務)



70歳までの就業確保  
(努力義務)

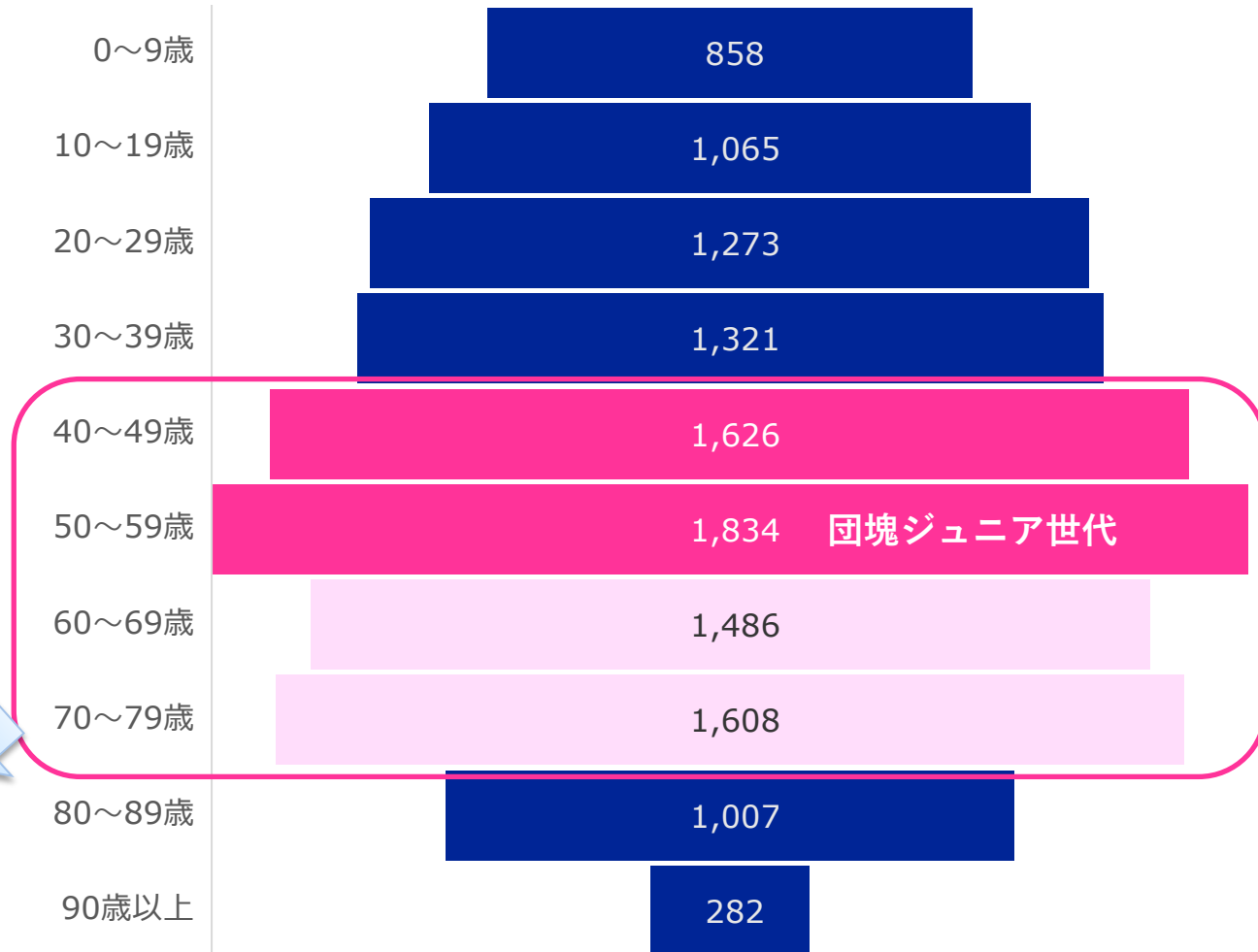


JACが得意とする  
経験豊富な40歳以上の  
人材マーケットが有望



日本の人口構造  
(2025年1月1日現在概算値)

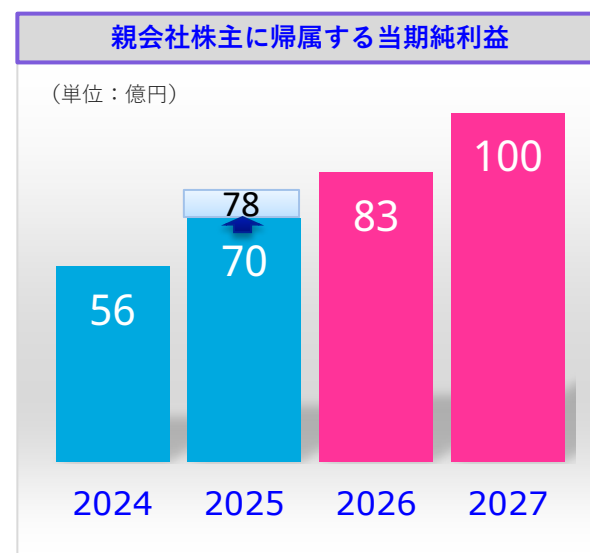
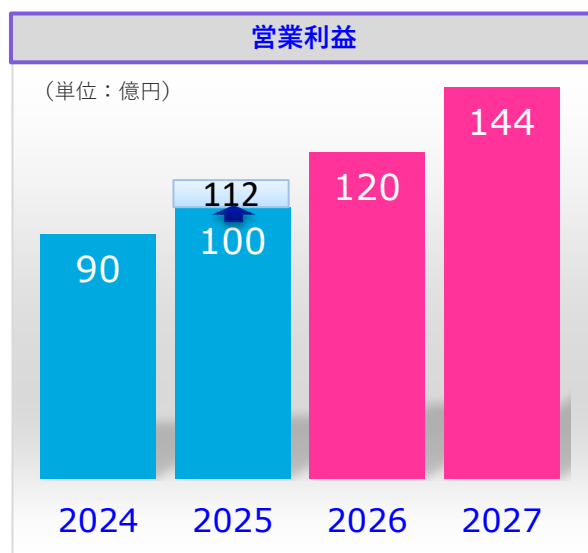
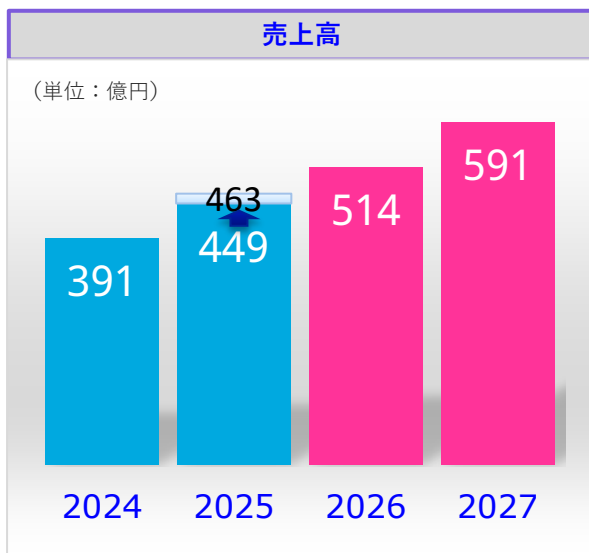
(万人)



【出典】総務省統計局「人口推計 2025年（令和7年）1月報」に基づき弊社作成

世界No.1水準達成に向け、年間約15%の成長を目指す。

	2024年12月期 実績	2025年12月期		2026年12月期 計画	2027年12月期 計画
		期初予想	修正予想		
売上高	391億円	449億円(+15%)	463億円(+18%)	514億円(+14%)	591億円(+15%)
営業利益	90億円	100億円	112億円	120億円	144億円
売上高営業利益率	23.2%	22.3%	24.2%	23.3%	24.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	56億円	70億円(+25%)	78億円(+39%)	83億円(+19%)	100億円(+20%)
利益率	14.3%	15.6%	16.8%	16.1%	16.9%



## 人事／HR戦略

1. コンサルタントの純増と生産性の維持

2. 人材育成

## 事業戦略

3. マーケット戦略

(1) 国内人材紹介事業の業種別売上高の状況

(2) 高額化戦略

(3) 地方拠点の強化

(4) 海外事業戦略

4. 事業効率化

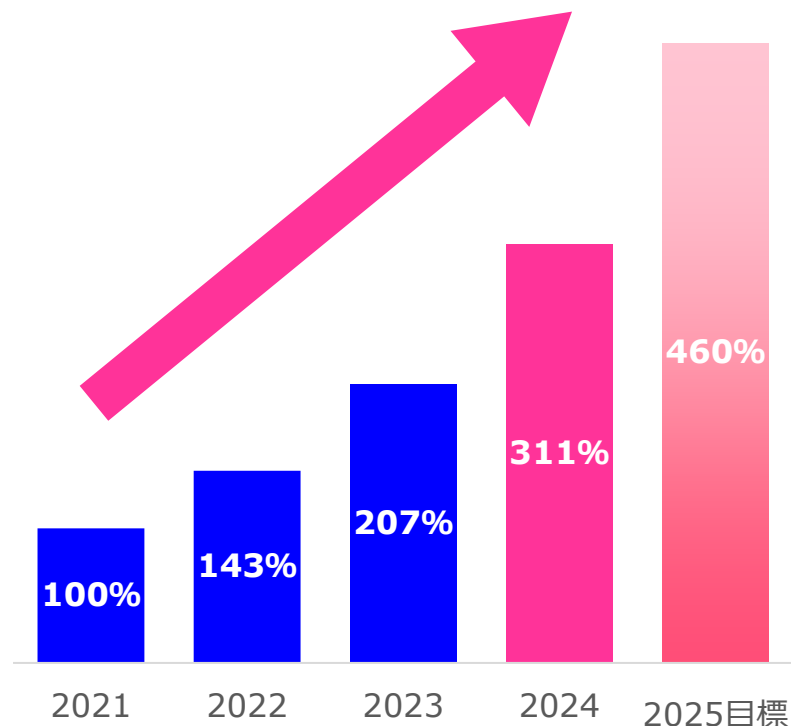
(1) BPRの推進

フォーカス市場・領域

## サステナビリティ領域

サステナビリティ関連の人材に関する求人採用決定数は、2021年から年々増加。

### サステナビリティ関連の成約ベース件数



### 紹介事例

事業会社/  
サステナビリティ経営推進 (課長級) **給与レンジ** 900~1,200万円

【採用の背景】 中期経営企画の目標達成に向けての人員強化/増員

金融機関/  
サステナビリティ企画 (管理職級) **給与レンジ** 2,000~万円

【採用の背景】 サステナビリティ推進部署の強化/増員

アセットマネジメント会社  
(ESGアナリスト) **給与レンジ** 900~1,100万円

【採用の背景】 ESG投資領域の深耕/増員

## JACの中長期目標

10年で**世界No.1**を目指す

オーガニック成長

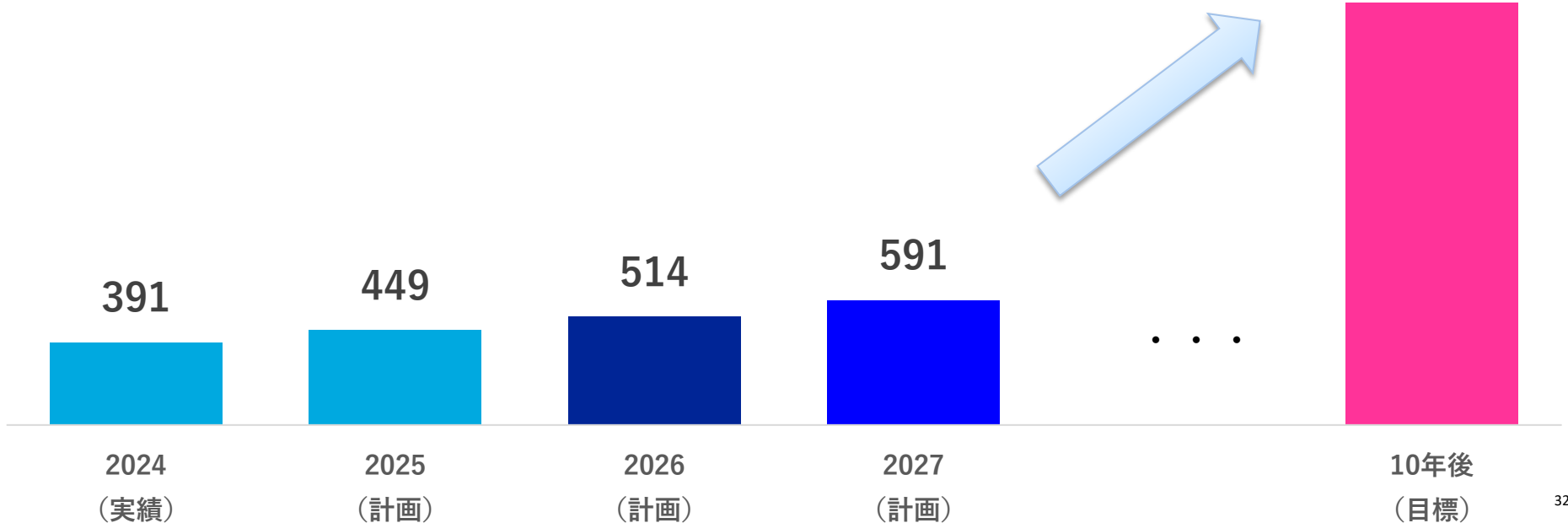
+

新規事業

+

M&A

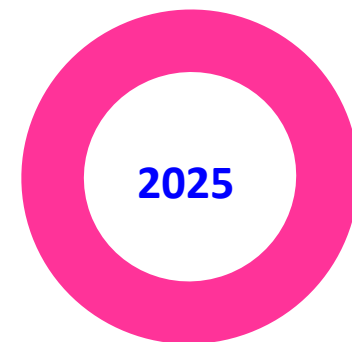
2,000 (億円)



## 5. 創業50周年を迎えて

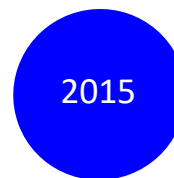
# 創業50年の歩み

## 創業50周年



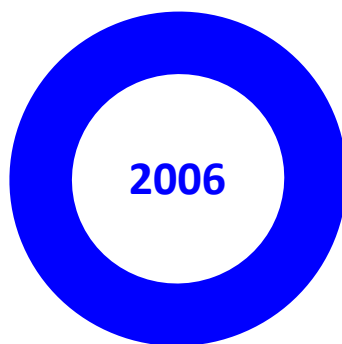
世界**11**カ国**34**拠点

東証の区分変更に伴い  
東証プライムに  
市場変更

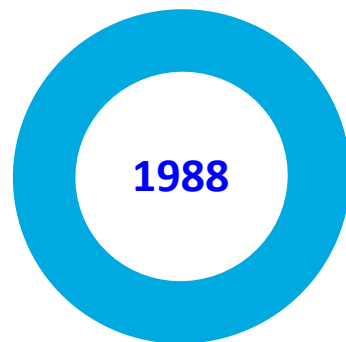


東証第一部  
へ市場変更

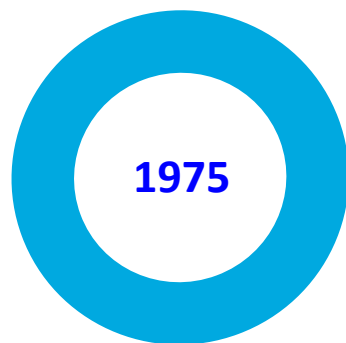
JASDAQ上場



JAC Japanを設立



英国・ロンドンで  
創業



2006年 → 2025年計画

GP: **73** 億円 ⇒ **429** 億円 (**5.9** 倍)

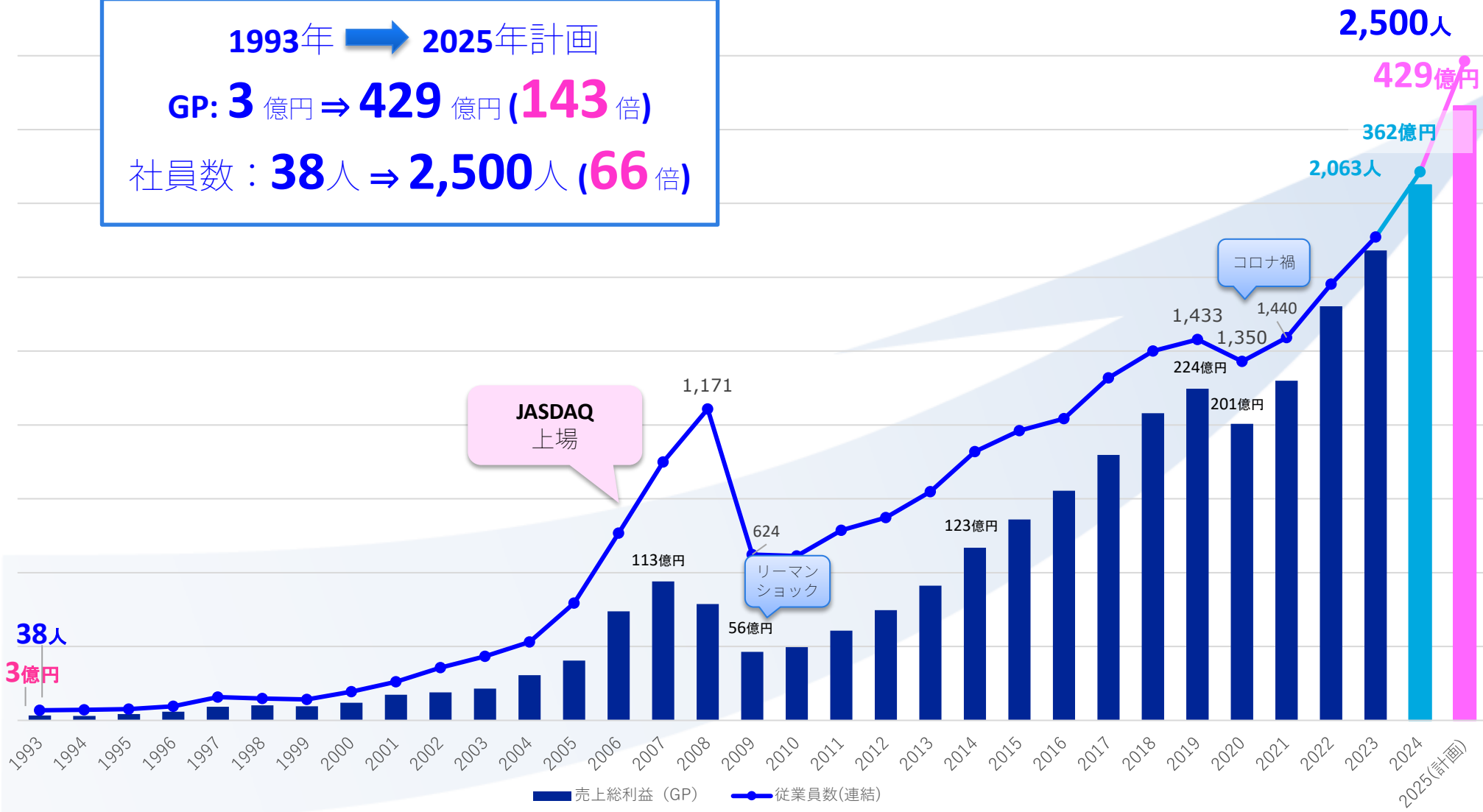
社員数: **704** 人 ⇒ **2,500** 人 (**3.6** 倍)

# 過去32年間のJAC Groupの売上総利益と社員数の推移

1993年 → 2025年計画

GP: 3億円 ⇒ 429億円 (143倍)

社員数: 38人 ⇒ 2,500人 (66倍)

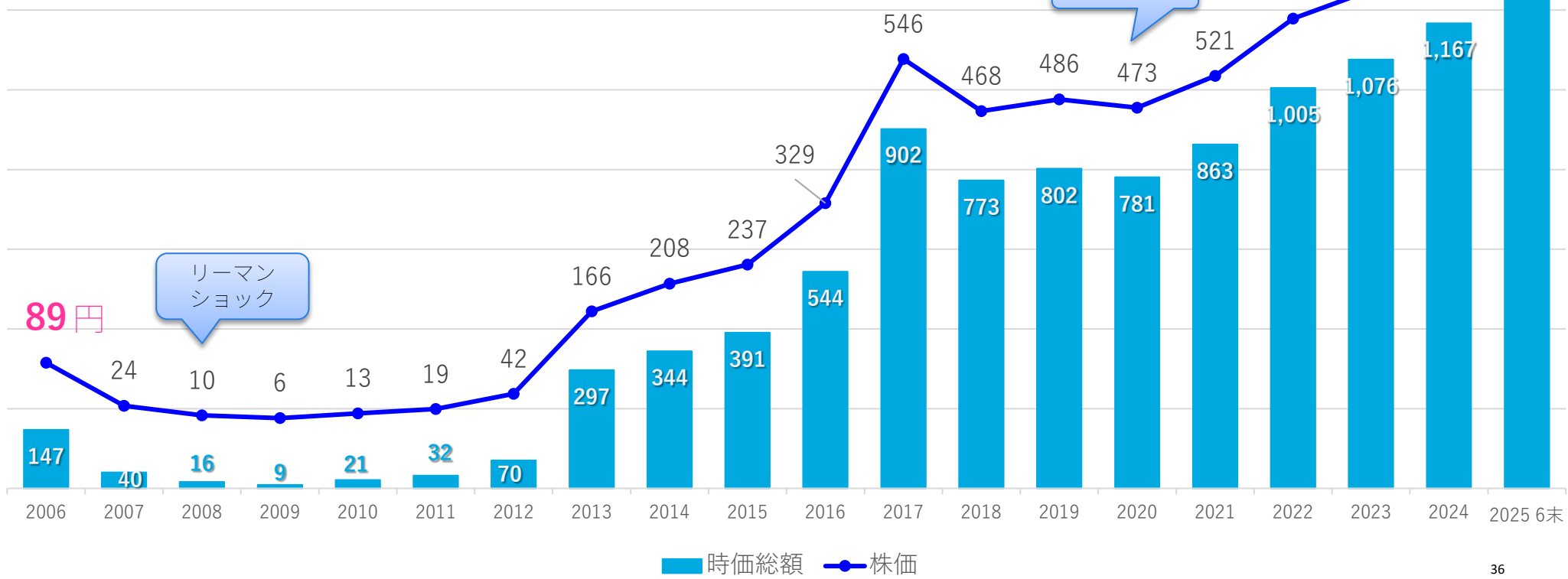


※従業員数は正規雇用者数 (連結)

# 株価と時価総額の推移

2025年9月10日  
株価：1,118円 (12.6倍)  
時価総額：1,850億円 (12.6倍)

2006年 (上場時) → 2024年末  
株価：89円 ⇒ 705円 (7.9倍)  
時価総額：147億円 ⇒ 1,167億円 (7.9倍)  
参考：TOPIX: 1,610.73 ⇒ 2,784.92 (1.7倍)



創業50周年を迎えて

Golden Jubilee

JAC Group

50<sup>th</sup>

JAC's New Era  
～次の50年へ～